

平成27年度 地域ケア会議(圏域連携会議・高齢者地域支援会議)の開催状況について(平成28年1月末までに報告済分)

資料2-2

包括	校区	会議種類		開催日時	開催目的	出席者	会議機能	結果	今後、検討が必要な課題
		圏域	支援						
南1	玉川	○		H27.11.13	<ul style="list-style-type: none"> 多職種間の情報共有(地域の状況や課題) 多職種間の相互理解 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ 介護サービス事業所 医師 MSW 区社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業所や医療関係者が地域の状況や課題について把握することができた 多職種間での連携の重要性を認識することができた 医療, 介護関係者等, 多職種連携のための顔の見える関係づくりができた 	<ul style="list-style-type: none"> グループホームより, 話し相手等のボランティアについて, 認知症の方の接し方や声掛けができず, 続かないとの意見あり →認知症についての知識を学び, 継続できるための取り組みが必要 専門機関と地域が連携するための情報共有
	塩原	○							
南2	長住		○	H27.9.15	<ul style="list-style-type: none"> 団地における見守り体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 自治協等 民生委員 ケアマネ 社協 UR都市機構 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の見守りネットワークとケアマネが連携をはかっていく 個人情報保護の問題もあるため, 民生委員代表と包括が窓口になり, 情報を共有していく 個別事例については見守りネットワークとケアマネで直接やりとりしてもらえるようにする 	-
	長丘								
	西長住								
南3	野多目		○	奇数月	「お・も・い・や・りネットワーク事業」(南区独自事業)により, 災害時に対応できる日頃の見守り体制づくりに取り組んでいる。				
		○		H27.10.13	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と介護保険事業所との連携 地域で取り組めることの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ 介護サービス事業所 有料老人ホーム 医療関係者 区社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 各医療, 介護事業所で地域との関わりはまちまちであったが, 意見交換を通して, 各事業所で何ができるかを考える機会になった 事業所同士の横のつながりができた 今後, 関係機関と連携して地域と事業所をつなげる働きかけを行っていく 	-
	三宅		○	H27.10.30	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅における見守り体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 校区社協 ボランティア 民生委員 社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅の形態(オートロック, 管理人の有無, 賃貸分譲の別等)により, 見守りのやり方を変えて工夫する必要がある 地域の見守りの中で支援が必要な高齢者を把握し, 協力員(ボランティア)が民生委員へ相談, 包括が連携して支援している状況もある 地域の見守りを拒否される高齢者への関わりが課題 	-
南4	宮竹	○		H27.7.13	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員と介護保険事業所のネットワーク構築 地域課題の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員 ケアマネ 介護サービス事業所 区社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> あんしんキットの記載内容について社協と相談 介護保険事業所と民生委員との連携強化のため, 今後も交流会等の開催が必要(事例検討や勉強会も) 介護事業所のマップ作成に向け, 民生委員と主任ケアマネとで協議 認知症の取り組みとして, 事業所との連携による研修開催やカフェでの相談対応等, 今後も継続して検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱い 連携のタイミングや方法
	高木	○							
南5	日佐	○		H27.9.28	<ul style="list-style-type: none"> 地域での運動教室開催検討(意欲の高い医療機関あり) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治協等 民生委員 医療機関 包括 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり, 資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の協力を得て, 場所は地域で確保, 健康教室を開催することが決定 教室の内容は医療機関に任せる 地域で活動する団体を中心に参加を呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア保険の取り扱いについて
	横手		○						
南5	弥永		○	毎月	「お・も・い・や・りネットワーク事業」(南区独自事業)により, ほほえみカフェ及び徘徊高齢者の搜索体制づくりに取り組んでいる。				
	弥永西	○		H27.5.28	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員とケアマネの相互理解 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員 ケアマネ 市社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 地域づくり, 資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員としては本人の情報を可能な限り把握したいが, ケアマネとしては個人情報保護の観点より情報提供が難しい場合もある 顔の見える関係づくりができ, 民生委員の住所, 担当校区等の情報をケアマネに提供 	-

平成27年度 地域ケア会議(圏域連携会議・高齢者地域支援会議)の開催状況について(平成28年1月末までに報告済分)

資料2-2

包括	校区	会議種類		開催日時	開催目的	出席者	会議機能	結果	今後、検討が必要な課題
		圏域	支援						
南6	老司鶴田	○		H27.11.24	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員とケアマネの相互理解 地域の見守り体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員 ケアマネ 区社協 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 地域づくり、資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員もケアマネもともに連携したいという思いを共有 見守りに関して、民生委員の負担とならないような連携や役割分担を検討していく 民生委員の中でも考え方に相違があり、ある民生委員役員は民生委員が関わった事例をすべて把握し、各民生委員の負担軽減や助言もしていきたいとの意向がある 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民への地域包括ケアシステムの理解促進
		○		H27.12.14	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情把握 事業所間のネットワーク構築 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ 介護サービス事業所 区社協 区、包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 地域づくり、資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> DS事業所などは場所の提供を検討できそうである 地域行事(清掃、草むしり、夏祭り等)への参加による関係づくりが必要。 地域との関わりを持ちたいが、どのように関わればいいのか、地域の考えを含め把握したい 今後、各事業所持ち回りでこのような会議を行うことにより、主体性を持って地域と関わることができるようになるのでは 地域課題である、団地のゴミ出し、食事、買い物について、事業所が低料金でランチ会や移動販売(商店街との連携)などを行うことができれば地域の活性化にもつながると思う 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と関わりを持つことでの事業所のメリットとリスクの周知 地域と関わる際のきっかけづくり →公民館行事(ふれあいサロン、シニアクラブなど)の場合は、校区保健師が関われないか →事業所として地域で活動できる場がほしい 地域活動を行う際の費用面での支援 →地域へ講師を派遣する場合、実費程度でも収入があればやりやすくなるのでは 自治会への加入率が低下しており、会費が集まらず、活動予算も少ない 民間事業所は営利目的とみられ関わりが難しい 通所関係(外に出す)と訪問関係(家に入る)事業所では地域に対する意識に違いがある 商店街との関わり方がわからない
南7	花畑		○	H27.10.15	<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護関係者の連携強化 地域と関わるきっかけの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者 介護関係者 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの方向性や目的を行政が明確に示すことで専門職の役割が見えてくる 専門職として、運動、健康チェック、残葉整理などは協力できる 施設や通所事業所としては、場所の提供を通して地域に協力したい 地域と連携していくためには話し合う機会が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの方向性や目的を明確に示す 事業所と地域をどうつなげていくか、マッチングが課題
	柏原								
南8	若久		○	H27.11.19	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネと民生委員との顔の見える関係づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員 ケアマネ 社協 区、包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護や守秘義務があり、情報共有のルールを検討していく必要がある 民生委員との連携が必要な場合、ケアマネから包括に相談すればつながることが可能 地域で心配な高齢者がいれば、まずは包括に相談する 	<ul style="list-style-type: none"> 転入した高齢者に心配がある場合の情報共有の流れ 個人情報保護をふまえ、どこまで情報共有するか(できるか) 情報共有について、守秘義務との兼ね合い
	大池								
南9	大楠西高宮	○		H27.11.13	<ul style="list-style-type: none"> 多職種間の情報共有(地域の状況や課題) 多職種間の相互理解 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ 介護サービス事業所 医師 MSW 区社協 区、包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業所や医療関係者が地域の状況や課題について把握することができた 多職種間での連携の重要性を認識することができた 医療、介護関係者等、多職種連携のための顔の見える関係づくりができた 	<ul style="list-style-type: none"> グループホームより、話し相手等のボランティアについて、認知症の方の接し方や声掛けができず、続かないとの意見あり →認知症についての知識を学び、継続できるための取り組みが必要 専門機関と地域が連携するための情報共有
		○		H27.12.21	<ul style="list-style-type: none"> 関係者間での支援体制充実 	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者 介護関係者 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種間で情報交換でき、地域を考えるきっかけになった 地域包括ケアシステムの必要性の理解を深める必要がある 個人情報の取り扱いが課題 医療と介護だけでなく、民生委員やコンビニ等との連携も必要である 認知症高齢者の見守りは、オートロックの場合が困難であり、何か対応方法がないかと思う 精神疾患など障がいを抱えている利用者が増えており、対応が難しくなっている 災害時の対応が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を地域にどこまで提供できるのか、マニュアルや基準が必要ではないか
南10	東若久	○		H27.10.16	<ul style="list-style-type: none"> 地域状況と課題の共有 地域支援のためのネットワーク構築 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関MSW ケアマネ 介護サービス事業所 区、包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの推進や校区状況についての理解を深めることができた。 普段関わることのできない関係機関との情報交換ができた。 地域の問題や現状を知ることができた。 地域が事業所や病院に求めていることがわかり、MSWもできることがあれば協力したい。 次回は地域の民生委員等も参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民への地域包括ケアシステムの周知 事業者が社協、地域役員等と関係づくりを行うための橋渡し 支援に苦慮する事例を相談につなげるため、包括の役割を周知する 必要時の地域情報の発信方法 地域役員との意見交換
	筑紫丘	○							

平成27年度 地域ケア会議(圏域連携会議・高齢者地域支援会議)の開催状況について(平成28年1月末までに報告済分)

資料2-2

包括	校区	会議種類		開催日時	開催目的	出席者	会議機能	結果	今後、検討が必要な課題
		圏域	支援						
南 1 1	西花畑		○	H27.8.7	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と介護事業所の相互理解, ネットワーク構築 意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ 介護サービス事業所 医療機関 社協 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ校区で同様の事業をしても, 各事業所が地域で取り組んでいることをお互いに知らないことがわかった これまで事業所が集まり地域課題などを話し合う機会がなく, 共通認識を持つことができた 課題解決に向けたネットワーク構築につながりそうである 	<ul style="list-style-type: none"> あんしん情報キットの管理(情報更新)について検討が必要 →ケアマネがいれば, ケアマネが確認するのも有効と思われる(ささえあいの会で周知) 民生委員とケアマネの交流会開催 まずは専門機関と地域, 次にコンビニや商店等の生活を支える企業との連携体制を構築していく取り組み
			○	H27.9.29	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業所, 医療機関, 地域とのネットワーク構築 地域課題発見に向けた意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 自治協 民生委員 ケアマネ 介護サービス事業所 医療機関 社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> 医療, 介護関係者だけでなく, 地域からも「各事業所の取り組みを聞くことができよかった」という発言があり, 地域における連携意識が高められた 各関係者はそれぞれ問題や疑問を抱えながらも相談先がわからず解決に至っていない現状が把握できた 校区は大きく桧原地区と皿山地区にわかれ, 桧原地区は地域密着型サービスの運営会議で町内会長や民生委員が交流ができています 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムに関する地域住民への継続した啓発 地域の関係者には, まず個別支援会議に参加してもらったほうが地域包括ケアシステムを実感しやすいのでは
	東花畑		○	H27.11.9	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と介護事業所とのネットワーク構築 地域課題発見に向けた意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ 介護サービス事業所 医療機関 社協 区, 包括 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築 地域課題発見 地域づくり, 資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> 校区内の医療機関, 介護保険事業所が集まる機会をはじめであり, ネットワーク構築に向け有意義だった それぞれの事業所でそれぞれ地域と関わるのではなく, 事業所間で協力して地域活動に参加することで人員などの負担も軽減されるのではないか 地域関係者に地域ケア会議を案内する場, すでに地域と連携がすすんでいる事業所から案内するのも有効 	<ul style="list-style-type: none"> 医療, 介護関係者の意欲は高く, 取り組み継続のためのモチベーション維持が必要 校区行事(健康フェアや福祉セミナー等)に今回の会議出席者で参加したい